

別紙

三菱重工業株式会社 三原製作所 温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

三菱重工業株式会社 三原製作所

(2) 事業所の所在地

広島県 三原市糸崎南一丁目1番1号

(3) 業種

印刷，製本，紙工機械製造業（2 6 4 4）

2 計画の期間

H23～H26年(4年計画)

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂) , 削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量 (a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量 (d), 下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成19～ 22年度平均	平成26年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成 年 度	平成 年 度
エネルギー 起源CO ₂	24,949.1	23,723.9	15,706.8	14,176.06	13,101.72		
		5.0	37.0	43.0	47.0		
非エネルギー 起源CO ₂							
メタン	1.4	1.3	0.6	0.35	0.099		
		5.0	57.0	75.0	93.0		
一酸化二窒素	2.9	2.8	3.19	2.767	2.112		
		5.0	-10	5.0	27		
フロン類							
温室効果ガス 実排出量総計	24,953.3	23,728.0	15,710.6	14,179	13,103		
		5.0	37.0	43.0	47.0		
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価	各種省エネ活動（変圧器の更新、空調更新、夏季ピーク活動（放送・デマンド抑制）による電力量の削減及び、調質工場（高周波炉、加熱炉）の部分操業による電力量が減少						

※ 削減率 (c) = (b) - (a) / (a) × 100 削減量の対基準年度比 (e) = (a) - (d) / (a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：付加価値生産高【億円】

温室効果ガスの種類	基準年度の実績 (a)	目標年度 上段：目標 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績 (d), 下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成22年度	平成 年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成 年度	平成 年度
エネルギー 起源CO ₂							
非エネルギー 起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
温室効果ガス 総排出量							
エネルギー消費 原単位（原油換 算kl）	48.64		39.04	32.87	25.42		
			80.3%	84.2%	77.3%		
実績に対する 自己評価	要因としては、印刷紙工、TESの付加価値生産高がTES 対前年度比147%、印刷紙工対前年度比125%に増加（先端、交通、TES、印刷紙工全体119%）に対し、エネルギー使用量も対前年度比92.6%と減少。省エネ効果及び操業低下による効果により原単位が減少。						

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	電気使用量の削減	電気使用量（年度H19年～22年の平均を基準：H23年2%、H24～H26年 各1%削減） H25年度21,748 [千KWh] 前年度比92.69% （糸崎・古浜工場全般）	① 省エネパトロール・節電放送の実施 冷暖房室温管理徹底 等 夏場28℃、冬場20℃管理 ② 省エネ型空調設備の更新 和田沖食堂、制御盤工場その他 （5台更新127MWh 削減） ③ 高効率変圧器の導入 13台更新 72MWh
2	水道使用量の削減	240千ton/年以内 （三社合計） H25年度実績 234千ton （前年度 92%）	① 日常の取り組みとして節水及び漏水の確認（チェックシート） ② 上水・工水の月別使用量の管理 ③ 処理水の再利用を検討
3	廃棄物排出量の削減	H25年度 目標：最終処分率0.5%未満 実績：最終処分率0.0%	① 汚泥脱水乾燥設備の導入により汚泥を焼却処理からリサイクルに転換。 ② 新規発生廃棄物について、リサイクル処理を行う業者を選定する。

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		

○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み